

令和8年8月17日

報道機関各位

長岡市福祉保健部長寿はつらつ課長



脳科学者が語る「認知症になっても、その人らしさは失われない」

令和8年度認知症地域フォーラムin長岡を開催

長岡市は、認知症の理解を地域で広めるための取り組みとして、「令和8年度認知症地域フォーラムin長岡」を開催します。

認知症地域フォーラムは、認知症への理解を深めるとともに、認知症になっても誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指すことを目的として開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ周知にご協力いただくとともに、当日は取材くださるようお願いいたします。

令和8年度認知症地域フォーラムin長岡 認知症になっても、「その人らしさ」は失われない ～脳科学から見た認知症～

- 1 日 時 令和8年8月27日（木） 午後2時～4時（開場：午後1時30分）
- 2 会 場 長岡リリックホール シアター（長岡市千秋3丁目1356-6）
- 3 内 容 (1)講演
講 師：脳科学者／東京大学大学院総合文化研究科特任研究員
恩蔵 絢子 氏
(2)情報提供
登壇者：三島病院認知症疾患医療センター
小林 詠里子 氏
- 4 定 員 400人（先着） 参加費無料
- 5 申し込み 8月21日（金）までに下記申込フォームまたは電話で申し込み
<https://logoform.jp/form/P5EF/1615515>
- 6 主 催 長岡市
- 7 共 催 三島病院認知症疾患医療センター
長岡西病院認知症疾患医療センター
- 8 その他 詳細は下記サイトから
<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/fukushi/cate06/forum.html>



【問い合わせ：長寿はつらつ課 山田
TEL 0258-39-2268】

令和8年度認知症地域フォーラム in 長岡

認知症になっても、 「その人らしさ」は失われたい

～脳科学から見た認知症～

日時

令和8年8月27日(木曜日)

午後2時から午後4時まで(開場:午後1時30分)

会場

長岡リリックホール シアター
(長岡市千秋3丁目1356-6)

定員

400人(先着順)

入場
無料



内容

①講演

講師: 恩蔵 絢子 氏
(脳科学者
東京大学大学院総合文化研究科特任研究員)

講師プロフィール

同居する母親が、アルツハイマー型認知症と診断され、娘として生活する中で表れる認知症の症状に向き合ってきた。一方で母親を脳科学者として客観的に分析することで認知症を理解し、情報を発信している。2023年1月に母親との時間に密着したドキュメンタリー、NHKスペシャル『認知症の母と脳科学者の私』が放映された。著書に『脳科学者の母が、認知症になる』(河出書房新社)など。

②認知症疾患医療センターの紹介

三島病院認知症疾患医療センター

申し込み期間

8月21日(金)まで



申し込み先

長岡市長寿はつらつ課

申込フォームまたは電話にてお申し込みください。

URL: <https://logoform.jp/form/P5EF/1615515>

電話: 0258-39-2268 (平日 午前8時30分～午後5時15分)



▲申込フォーム

主催: 長岡市 共催: 三島病院認知症疾患医療センター、長岡西病院認知症疾患医療センター

講師 恩蔵絢子氏 ミニストーリー

認知症になると、その人は本当に”その人ではなくなる”のか

「脳科学者である私でも、母の認知症を受け入れられなかった」
そう語るのは脳科学者・恩蔵絢子さん。

認知症になった母親との 8 年間の歩みを、娘として、そして研究者として見つめ続けてきた。

病気によって記憶が失われても、愛情や感情は残り続ける。その姿から見えてきたのは、「認知症になっても、その人らしさは消えない」という気づきだった。

科学的知見と自らの実体験という二つの視点を持つ数少ない研究者として、認知症への新たなまなざしを社会に問いかけている。

著書『脳科学者の母が、認知症になる』は大きな反響を呼び、NHKスペシャルでも特集された。



講師：恩蔵絢子氏

脳科学者、東京大学大学院総合
文化研究科特任研究員